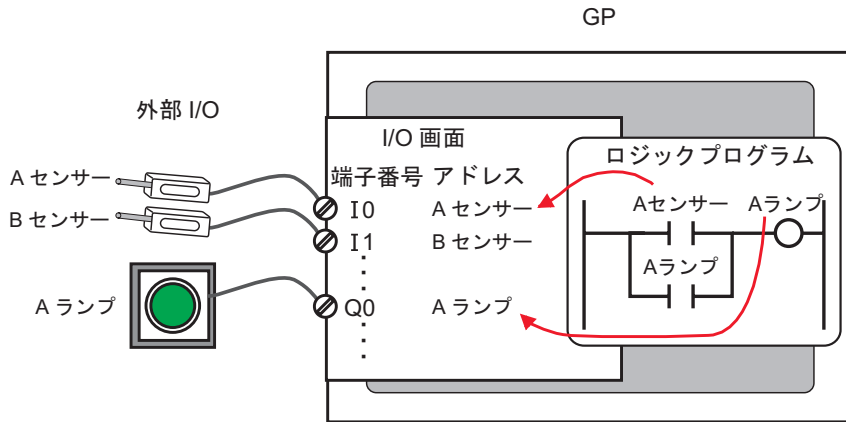


30.3 GPの内蔵DIOで外部I/Oを制御したい

30.3.1 詳細

GPで外部IOを制御するには、GP内蔵のDIOドライバを使用します。

入力6点、出力2点で構成されています。

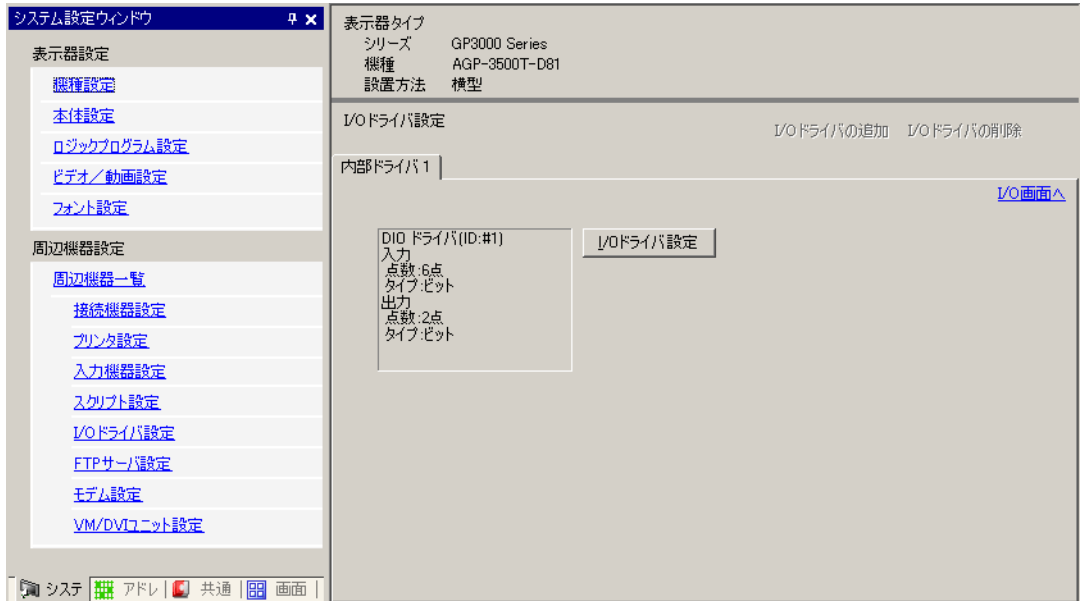


30.3.2 設定手順

MEMO

- 設定内容の詳細は設定ガイドを参照してください。
☞「30.3.3 [I/O ドライバ設定] の設定ガイド」(30-12 ページ)

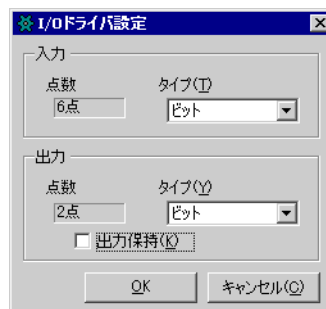
- 機種設定で AGP-XXXXX-D81 を選択します。自動的に DIO ドライバが設定されます。
- [システム設定ウィンドウ] から [I/O ドライバ設定] を選択すると、次の画面が表示されます。



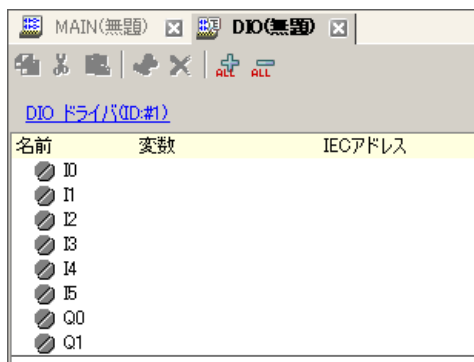
MEMO

- ワークスペースに [システム設定ウィンドウ] タブが表示されていない場合は、[表示 (V)] メニューから [ワークスペース (W)] を選択し、[システム設定ウィンドウ (S)] を選択します。

- [I/O ドライバ設定] をクリックすると、次のダイアログボックスが表示されます。入力、出力のアドレスタイプを設定し、[OK] をクリックします。



4 [I/O画面へ]をクリックしてI/O画面に移行します。

**MEMO**

- ワークスペースの[画面一覧]ウィンドウからI/O画面を表示することもできます。

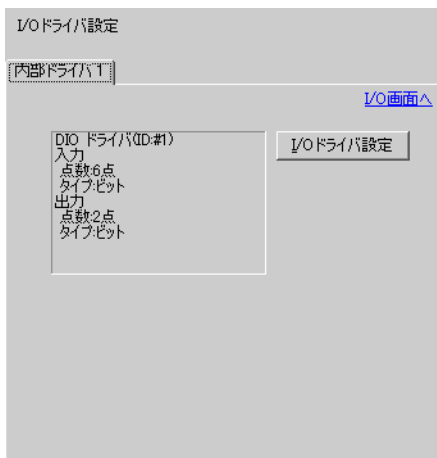
5 各端子にアドレス(変数)を割り付けます。割り付け方法については以下を参照してください。

☞ 「30.1.2 設定した各I/O端子にアドレス(変数)を割り付ける方法」(30-3ページ)

30.3.3 [I/O ドライバ設定] の設定ガイド

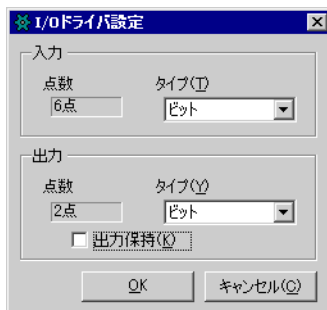
DIO ドライバ

表示器の機種が「AGP-XXXXX-D81」の場合に、システム設定ウィンドウの [I/O ドライバ設定] を選択すると表示される画面です。



設定項目	設定内容
I/O ドライバ設定	クリックすると、[I/O ドライバ設定] ダイアログボックスが表示されます。
I/O 画面へ	クリックすると、I/O 画面に切り替わります。

I/O ドライバ設定



設定項目	設定内容
入力	入力の変数タイプを [ビット] または [整数] から選択します。点数は 6 点 (固定) です。
出力	出力の変数タイプを [ビット] または [整数] から選択します。点数は 2 点 (固定) です。
出力保持	ロジック停止時に出力を保持するかどうかを設定します。チェックを入れると、GP が停止状態になっても I/O のデータ値を保持したままにすることができます。